

令和2年度茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会

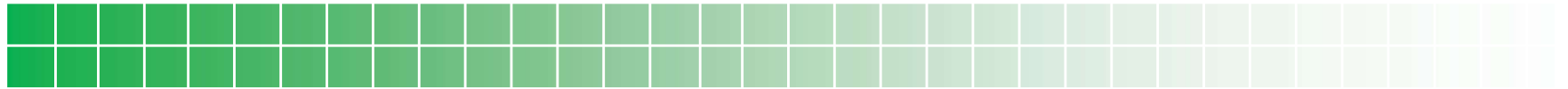
第2回市民部会資料

－目次－

議題事項

(1) 心のバリアフリー普及啓発について.....	1
(2) 心のバリアフリー教室について.....	5
(3) 特定事業と市民部会の取組の連携について.....	9

議題事項



心のバリアフリー普及啓発について

心のバリアフリー普及啓発について

平成28年度～平成29年度

・取組対象を障がい者として外出促進等を実施

平成30年度

対象の変更

市民部会

・アンケート調査を通じて多様な障がい特性の声や体験を収集し、リーフレット(案)を作成

取組対象

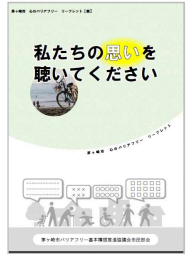
市民

多くの思いやり(共生社会の実現)
 少しの思いやり(合理的配慮の実施)
 少しの気配り(障がいに対する理解)
 少しの意識(障がいに対する気づき)

全体の割合

↑この意識を変え、思いやりを増やしたい

リーフレット(案)



発行前の確認(課題)

多様な障がい特性をまとめた結果、興味や関心が低い市民を対象とするには、情報量が多すぎる

継続的、かつ情報が正確に伝わるための工夫が必要で、その結果心のバリアフリー推進につながるのではないか。

令和2年度

掲示場所を増やした

①市役所1階市民ふれあいプラザ掲示 (令和2年11月) ・市民部会のこれまでの取組についてパネル展示を実施	②コミュニティバス車内 (令和2年12月～) ・車内広告欄を使用し、スマートフォンによる筆談の紹介
③JR茅ヶ崎駅構内エレベータ (令和3年1月～) ・駅構内3箇所のエレベータの出入り箇所設置	④JR茅ヶ崎駅北口ペDESTリアンデッキ及び明野南口エレベータ (令和3年1月～) ・北口ペDESTリアンデッキに接続の6箇所と駅南口1箇所に周辺地図と合わせ設置
⑤国道1号と県道46号の交差点における地下道部エレベータ (令和3年1月～) ・地下道にある4箇所に周辺地図と合わせ設置	⑥豊田豊田地区内における商業施設エレベータ(ラスタ等)増設、イオンスタイル(相模茅ヶ崎) (令和3年2月～) ・6施設のエレベータ機に設置

市民からの意見
資料2、資料3を参照

今後の進め方を協議

令和元年度

伝え方の工夫

市民への伝え方を工夫

「少しの意識がある市民」を対象に取り組み、その数を増やし、本市バリアフリー底上げへ繋げる

障がい者等困っている人がいたら...

①困っていることに気づく
②声かけをして、その人が何を求めているか確認

求めることがあれば、お手伝いする

興味関心が「ない」又は「少ない」人の意識を、どう動かせるかがポイント!

→抵抗なく目に留まる伝え方が必要、地道に続ける継続性 広く浅く伝える方法を検討 必ず取り組む!

- 発信量が少なく
- 短時間で理解
- 簡単・手軽さ
- 身近な
- 継続的に目にする機会
- 安定した発信
- 繰り返す
- 簡単なツール
- 発信量が多い資料 →リーフレット

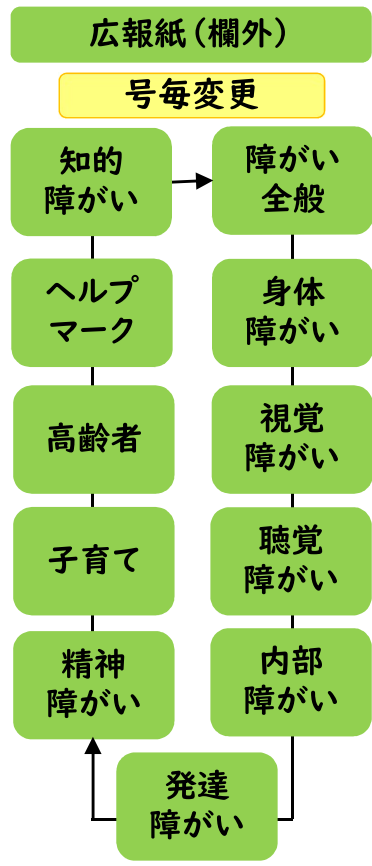
↑ 拡大

障がい者の声を、「ありがとう」の言葉を使って、市民へ伝える!!

心のバリアフリー普及啓発について

これまで実施してきた普及啓発① (広報紙)

※市民部会で調整



ありがとう!手助けを必要とする私から... 令和2年 4/15号 障がい全般
 私は、少し前まで障がいがあることを理由に外出を控えていました。今は、手助けしてくれる人や配慮してくれる人が多くなり、外出する機会が増えました。外出すると、気分が晴れて楽しい気持ちになります。**皆様の気持ちに感謝します!**

ありがとう!目の不自由な私から... 令和2年 5/15号 視覚障がい
 先日、まちで誘導案内を申し出てくれた方がいました。授業で学んだからと言っていましたが、「あれ」、「これ」と曖昧な言い方ではなく、具体的な説明で声かけをしてくれたのでとても分かりやすく、**安心して歩けました。**また、お会いしたらお願いしたいです。

ありがとう!耳の不自由な私から... 令和2年 6/1号 聴覚障がい
 私はよくバスを使って買い物に出かけます。先日、バスの案内掲示が見えない席に座ってしまったため、隣の高校生にスマホで筆談し、次の停留所名を訪ねたところ、丁寧に教えてくれました。案内が聞こえないので、**本当に助かりました。**

ありがとう!知的障がいのある私から... 令和2年 8/1号 知的障がい
 買い物の時にレジでの支払いに時間がかかることがあります。後ろに並んでいる方に「ゆっくりで良いですよ」と声を掛けていただき、**安心して支払いをすることができました。**温かく見守ってくれてうれしい気持ちになりました。

ありがとう!高齢の私から... 令和2年 10/1号 高齢者
 年齢を重ねるにつれ指の力が弱くなり、瓶や缶の蓋を開けることができない時があります。最初は周りの人に声をかけることを躊躇していましたが、皆さん気持ちよく手伝ってくれます。本当に助かります。**感謝の気持ちでいっぱいです。**



こころのバリアフリー市民部会 誰もが安心して過ごせるまちづくりのために市民の皆さまに「ありがとう」を伝えていきます

心のバリアフリー普及啓発について

これまで実施してきた普及啓発②

(他の媒体)

窓口カウンター



公共施設

イラスト 文字

鶴嶺公民館



民間施設等

イラスト 文字

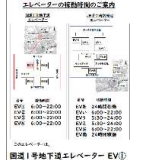
コミュニティバス



JR茅ヶ崎駅構内



ペDESTリアンデッキ



国道1号地下道



商業施設



デジタルサイネージ

イラスト 文字

路線バス(神奈中)



茅ヶ崎市役所



JR茅ヶ崎駅



広報紙(欄外)

文字

こころのバリアフリー市民部会 誰もが安心して過ごせるまちづくりのために市民の皆さまに「ありがとう」を伝えていきます



「定型の表現」
茅ヶ崎市バリアフリー
基本構想《基本理念》

「号毎の表現」
障がい者等の声や体験

こころのバリアフリー あなたの“ひと言”にありがとう! まちを歩いていて「あの、だいじょうぶかな?」と思うことはありませんか。心身に障がいを持つ私たちは1人で出来ないことがたくさんあります。困っている時にあなたの“ひと声”があると、「ありがとう!」の気持ちでいっぱいです。

市広報番組

音声 文字
イラスト

ケーブルテレビの放送に合わせ、市役所1階ロビーでも放映



市ホームページ

音声 文字
イラスト

TOPバナー

市ホームページで展開

心のバリアフリーページ

市民部会の取組や心のバリアフリーに関するホームページを作成

声の広報

音声

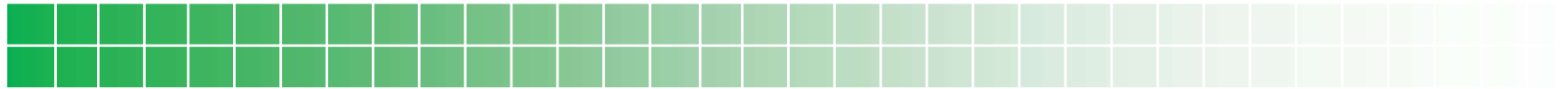
視覚障がい者向けの音声による広報紙

ありがとう!の言葉から

多様な情報媒体を活用して自然と目にする機会を増やす

市民部会が発信(障がい者の声・体験を通して)

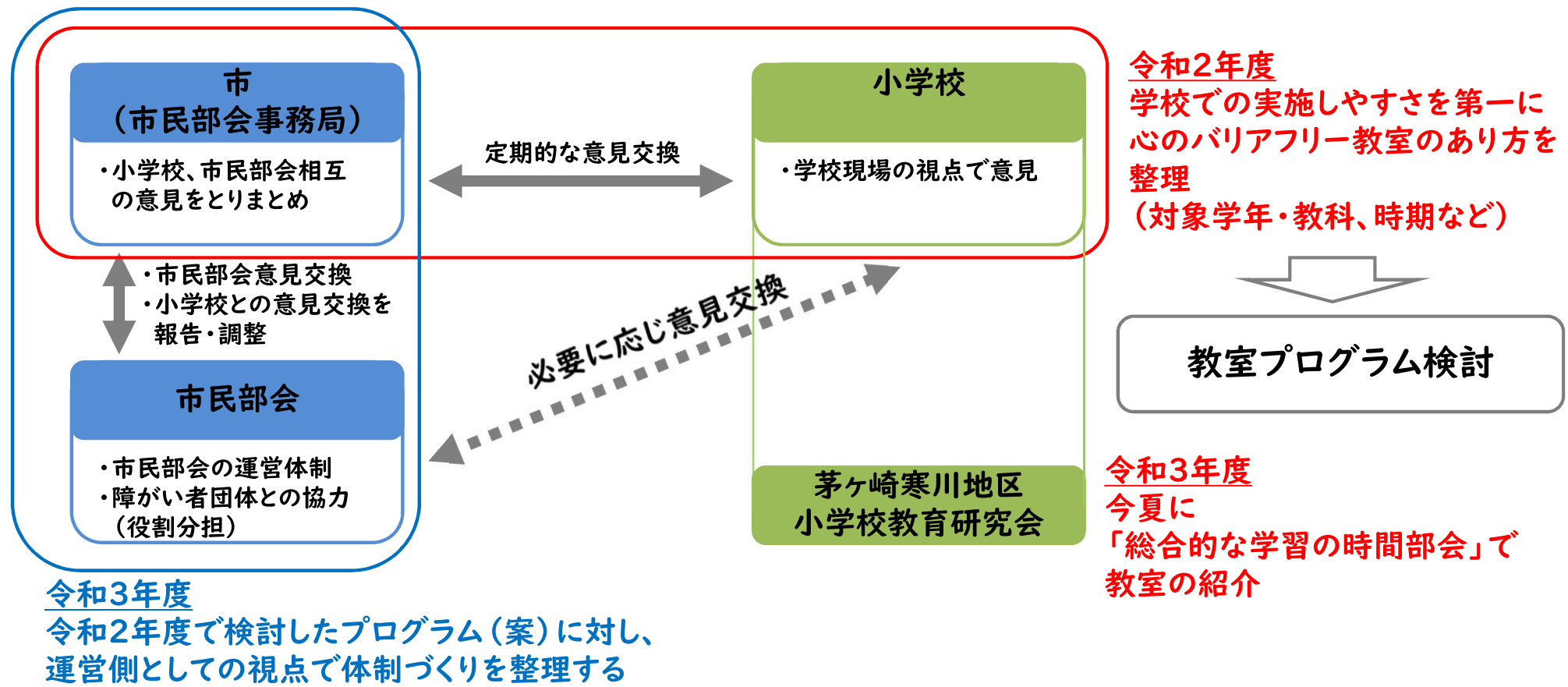
議題事項



心のバリアフリー教室について

心のバリアフリー教室について

(1) 関係者



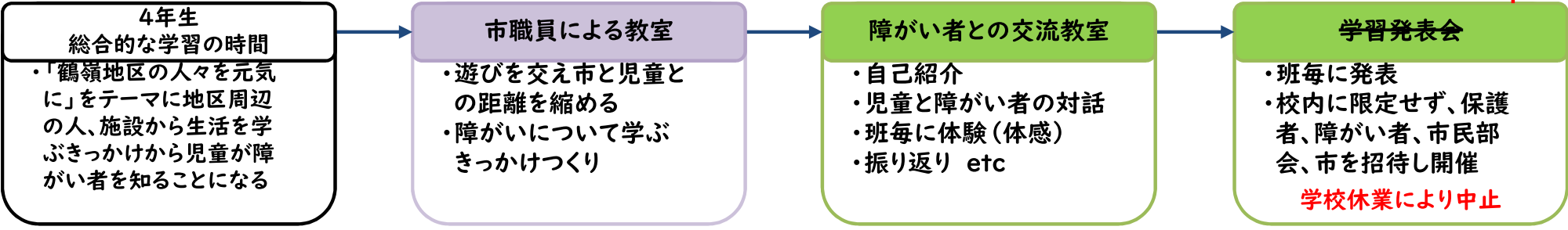
心のバリアフリー教室について

(3) 教室プログラム

心のバリアフリー
普及啓発での活用

↑
他の方法で活用

昨年度の教室展開

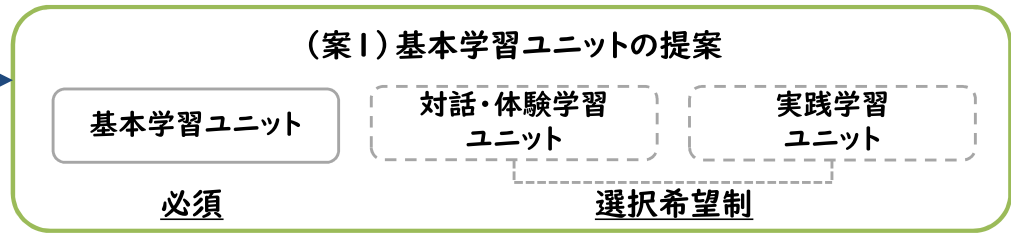
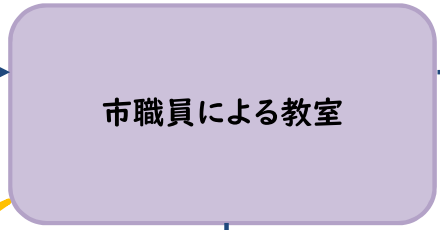
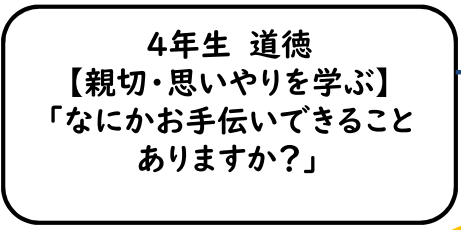


現在検討中

交流教室に展開しやすい

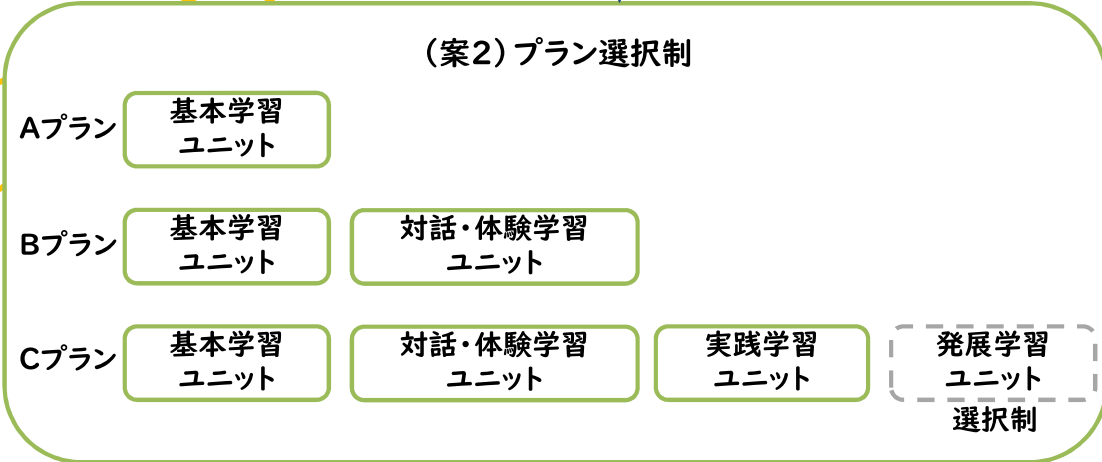
市の状況等を学び
交流教室へ展開する

交流教室に展開しやすい



学習指導要領の改正

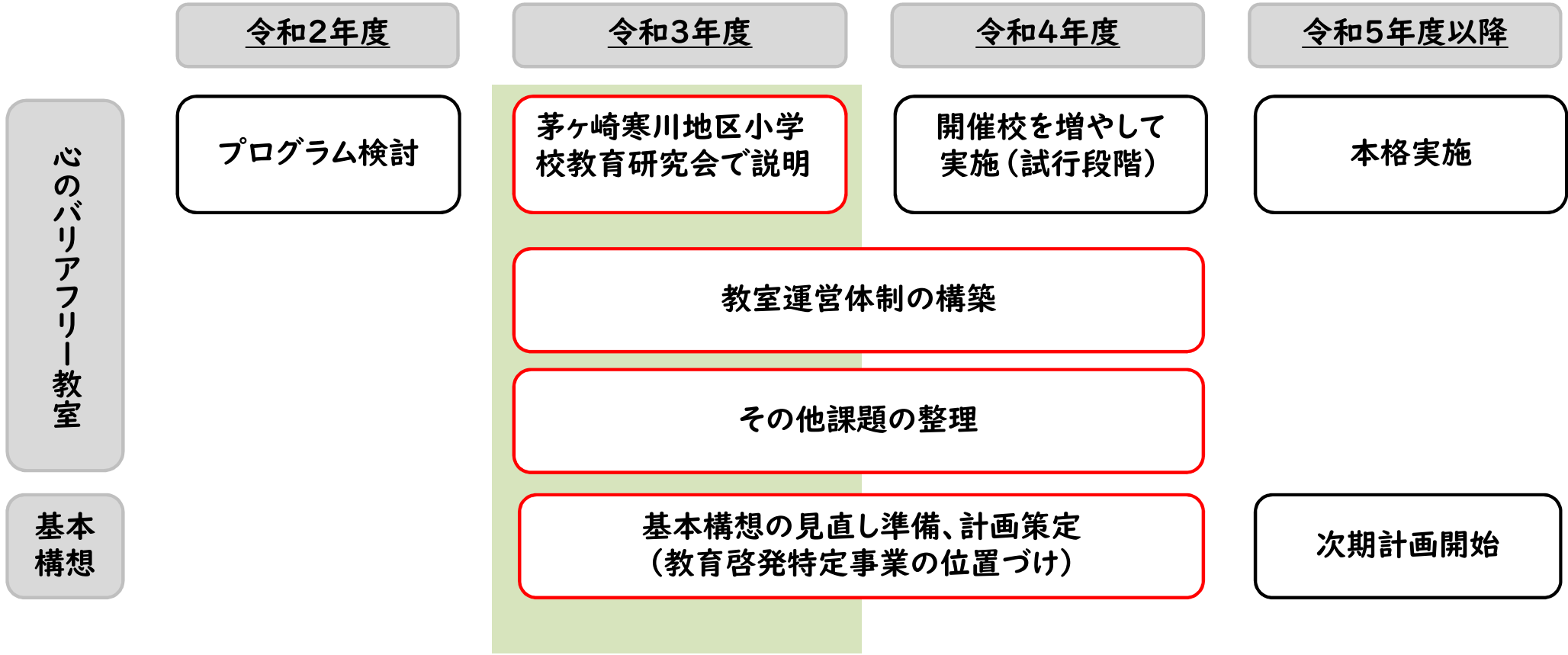
令和2年度は、プログラム検討を目的として、教室を開催
【開催日など】
・R2.12.17
・鶴嶺小学校 4年6クラス
・50分/クラス
・講師は市職員



- ・初期段階では、授業の受け入れ易さを第一に考え、(案1)の体系を進める
- ・本教室が定着した段階では、(案2)の体系が柔軟性があり、選択しやすい
- ・持続可能な教室とするためには、先生方が本教室の魅力を感じてもらうことが重要 → トップダウン方式ではなく、ボトムアップ方式で展開を図る

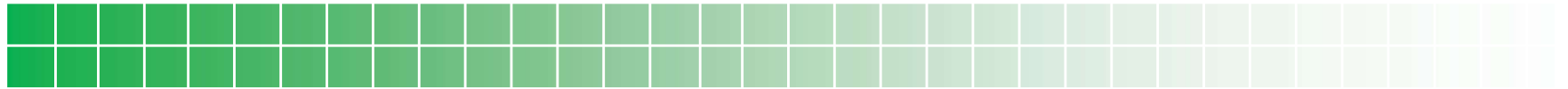
心のバリアフリー教室について

(4) スケジュール



↑
市民部会で引き続き調整する

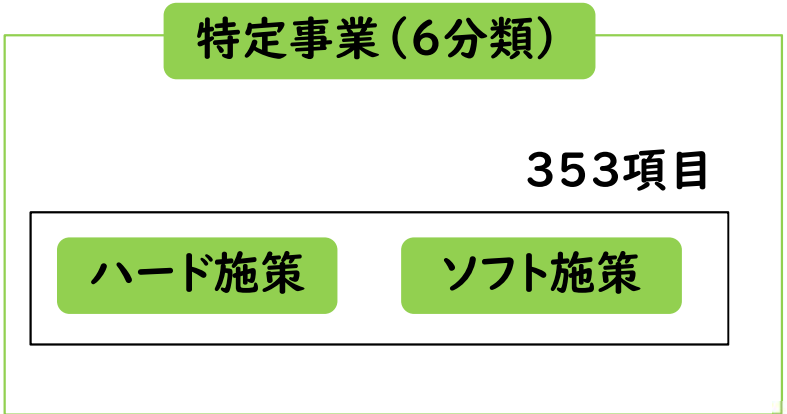
議 題 事 項



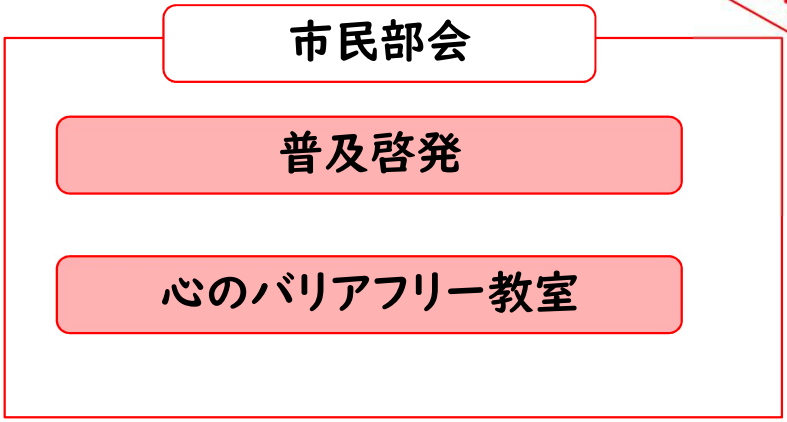
特定事業と市民部会の取組の連携について

特定事業と市民部会の取組の連携について

現状



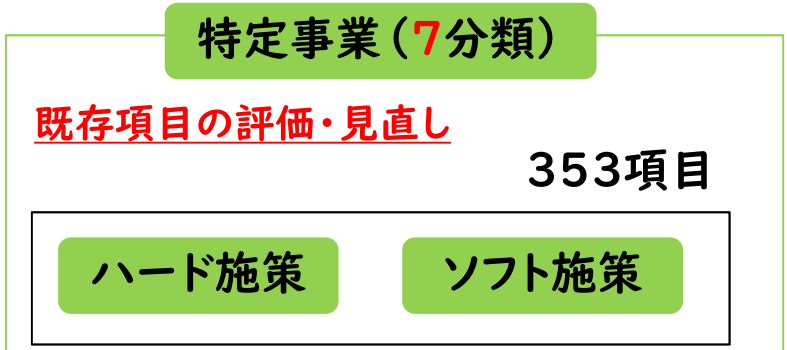
令和2年度末の完了事業数
99件 (全体353件)
→進捗率28%



基本構想の見直し



次期基本構想 (令和5年度以降)



新規 (追加)

ハード施策

- ・バリアフリー基準適合義務の対象施設の追加
→旅客特定車両停留施設
→公立小中学校

ソフト施策

- ・教育啓発特定事業
- ・優先席、車椅子用駐車施設等の適正利用推進の広報・啓発活動

etc

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部改正
↓
ソフト施策の強化

進捗率の向上につなげる

連携

